

発言通告書（総括表）

平成29年第2回定例会 代表質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
1	永田議員 (自民)	危機管理・減災対策について 福祉の視点からの住まいの確保について 低未利用地、区有財産の活用について 道路整備のあり方について	減災の取り組み、災害時の行政機能の確保と地域住民・帰宅困難者への支援体制、装備の充実、 北朝鮮による日本に落下可能性のある弾道ミサイル発射時の対応について 福祉の視点から見た「住まいの確保と支援」の取り組み、高齢者施設整備の具体的な方向性について 子育て支援、高齢者福祉といった行政需要、地域需要への対応と地域との合意形成、長期計画について 区内道路の安全な歩行空間、道路環境確保にあたり整備方針、沿道住民との調整について	区長、教育長 及び 関係理事者
2	林議員 (千代田)	軽井沢町と姉妹都市提携を 受動喫煙防止条例と路上喫煙対策 川端緑道と人道橋の今後	・「軽井沢少年自然の家」を引き続き活用していくことを求める決議を踏まえた今後の対応 ・行政だけでなく相互住民交流をするために軽井沢町と姉妹都市提携を ・東京都が制定をめざす受動喫煙防止条例と安全で快適な千代田区の生活環境の整備に関する条例 ・子どもたちが遊ぶ公園は、条例で禁煙公園に ・「水辺を魅力ある都市空間に再生する条例」を踏まえた今後の対応 ・大手町地域で進む川端緑道と対岸の神田地域の整備方針を区民と共有できるような計画や体制を	区長、教育長 並びに 関係理事者
3	木村議員 (共産)	1、区長の政治姿勢を問う	○安倍首相は期限を区切った憲法9条改定に言及した。これは、「国務大臣、国会議員」の憲法尊重擁護義務に反すると思うが、区長の認識は？ ○小池都知事は6月1日、所信表明で「かつての都知事が市場業者や都民に約束し、都議会が付帯決議をした（豊洲市場の）『無害化』は達成できていない状態」と述べた。「無害化された安全な状態での開場」という都民との約束を守ろうとすれば、築地市場の豊洲移転はありえない。都民との約束を守るとは行政運営の基本方針と思うが、区長の見解は？	区長及び 関係理事者

発言通告書（総括表）

平成29年第2回定例会 代表質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
3	木村議員 (共産)	2. 数十年後をみすえた持続可能なまちづくりを	<p>○日本は人口減社会に突入した。が、住宅過剰供給が続き空き家が増加している。国・自治体が規制緩和をすすめ高層マンションの林立を後押ししていることが背景にある。大型開発を見直し数十年後をみすえた持続可能なまちづくりへの転換にむけて</p> <p>① 過度な規制緩和を見直す時期にきているのでは ② 地域貢献の内容を公共性等の視点から専門家等がチェックするしくみを ③ マンション再生の重視を。耐震促進助成事業の見直しを ④ 市街地再開発事業の準備段階からの情報公開を ⑤ 既存の民間住宅の空き家を活用した借上げ型区営住宅の本格的な検討を提案する。</p>	区長及び 関係理事者
4	小林た議員 (声)	<p>1. 2020に向け「受動喫煙防止」対策をどのように実施するのか。</p> <p>2. 「神田の家」 (井政 いまさ)について</p> <p>3. 神田川河川域における防災船着場の有効活用について</p>	<p>東京五輪に向けて3月1日、厚労省は受動喫煙防止の新たな法案を公表したがこの法案では屋内全面禁煙は困難。国の受動喫煙対策は混迷している。区は全国に先駆けて路上禁煙を進めてきたが、公園の禁煙は分煙にとどまり曖昧。たばこを吸わない人と喫煙者にとっての環境づくりが必要、いつまでどのように実施するのか。芳林公園のような完全密閉型喫煙所の適正配置を区内各所に計画的に行う等道筋を早急に示すべき。</p> <p>① 指定有形文化財「神田の家」(井政)は、2009年に宮本公園に移築されたが区民に広く広報されているか。 ② 宮本公園内の「神田の家」カフェ井政は地域資源として地域に知られているか。 ③ 民間施設のより有効なバックアップが必要ではないか。 ご見解は他。</p> <p>① 防災船着場とは、何のためにあるのか。 ② 千代田区の防災計画に防災船着場の位置づけが見えないのはいかがか。防災棧橋を平常時から普通に開放し有効に活用することで区民に存在を知らせ、被災時活用の促進につなげてはどうか。 ③ 手始めに和泉橋防災船着場から始め神田川流域における棧橋の開放をしてはどうか。 ④ 単に棧橋を開放するだけでなく、棧橋利用者の安心安全を守るため、区と舟運事業者の方々による協議会などの組織につなげ、棧橋の節度ある利用や神田川の安全航行のルール作りも併せて行っていくことも必要、ご見解は。</p>	区長並びに 関係理事者

発言通告書（総括表）

平成29年第2回定例会 代表質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
5	寺沢議員 (紡民)	個人情報保護法改正による区 への影響と対応について 介護保険改定にむけて	個人情報をしっかり守る必要があります。反面、多様な情報が活用される便利な社会にしたい。この両立をめざす個人情報保護法が5月30日施行されました。法改正による区への影響と対応について問います。 <ul style="list-style-type: none"> ◦特養等の介護職員確保について ◦総合事業について ◦自立支援の取り組みについて 等	区長並びに 理事者
6	大串議員 (公明)	1) 地域包括ケアシステムの 構築に向けて 2) 防災リーダーの育成につ いて	<ul style="list-style-type: none"> ① 急速な高齢化が進んでいる。住み慣れた地域で尊厳を持って暮らし続けるために「地域包括ケアシステム」の構築が急がれる。地域包括ケアシステム構築に向けての基本的な考え方は。また現状はどこまでできているのか。 ② 住まいとしてのサービス付き高齢者住宅の設置にあたって区の考え方は。 ③ 区営住宅、高齢者優良賃貸住宅（こもれび）（地域優良賃貸住宅）にお住いの方も高齢化が進んでいる。サ高住同様の仕組み考えていくべきでは。 ① 平成25年の災害対策基本法の抜本的な改正が行われたがその趣旨は「行政主体の防災対策」から「住民主体の防災対策」へであった。防災リーダーの育成は喫緊の課題である。そこで、防災リーダーとしての防災士育成を提案する。ご所見は。 ② 地区防災計画策定への支援は。 ③ 町会などの自主防災組織と事業所、PTA等地域団体が連携をとって防災活動をする（仮称）地域防災協議会の設置を提案する。ご所見は。 	区長および 関係理事者